

第28回萩原朔太郎賞は、最終候補作品5点の中から、マーサ・ナカムラさんの詩集『雨をよぶ灯台』（思潮社）に決まりました。

その他の最終候補（刊行順） 『犬探し／犬のパピルス』 管啓次郎（Tombac）、『素晴らしい低空飛行』 阿部日奈子（書肆山田）、『ロウボデイ』 朝吹亮二（思潮社）、『野の戦い、海の思い』 水島英己（思潮社）

● **贈呈式・記念イベント**
賞の贈呈や選考経過の説明、マーサ・ナカムラさんの記念講演などを開催します。また、会場の様子はインターネットで同時配信。詳しくは前橋文学館ホームページをご覧ください。

日時 10月31日(土) 13時30分
会場 前橋文学館
対象 一般、先着30人
申し込み 10月3日(土)から同館へ

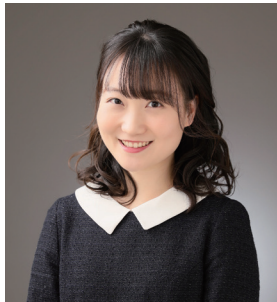
前橋文学館
027・235・8011

史上最年少の受賞者 萩原朔太郎賞が決定しました

受賞コメント

受賞の報せを受け、ただただ驚いております。諸先輩方から激励をいただいた気持ちです。

これからも、詩の道を自由を楽しみながら精進します。皆様に感謝申し上げます。



マーサ・ナカムラさん

平成2年埼玉県生まれ。早稲田大卒。詩人・会社員。平成28年に第54回現代詩手帖賞、平成30年に詩集『狸の匣』で第23回中原中也賞を受賞。



文化協会の展示を再開 今後も市民の文化活動を支えます

前橋文化協会 ☎027-289-6521

文化協会は、昭和56年の創立以来、市民芸術文化祭や和の文化の集い、ふれあい体験教室など、多彩な活動を進めています。新型コロナウイルス感染症の影響で見送っていた活動を10月から再開。まずは、俳句作品展を開催します。（関連記事本紙16ページ）

文化協会では10月から展示を再開し、5,000人にのぼる会員が活躍できる場をこれからも提供していきます。また、来年の創立40周年に向けて、「今こそつなぎ広げ深めよう、前橋文化の輪」を合言葉に記念事業を企画しています。期待しててください。



文化協会会長
清水和夫さん

文化芸術を応援 活動事業費を補助します

前橋文化国際課 ☎027-898-6516

コロナ禍における文化芸術の活動を支援するため、本市で活動する文化芸術団体・個人に対し、事業費の一部を補助します。詳しくは本市ホームページをご覧ください。

対象＝市内に活動の本拠があり、文化芸術活動を行う団体や個人

申請書の配布＝市役所文化国際課で。本市ホームページからダウンロードもできます

申し込み＝10月5日(月)～20日(火)(必着)に郵送で。申請書に記入し、市役所文化国際課まで



なぜ踊らないの 書いて、創って、舞う 生誕100年記念 作家 萩原葉子展

詩人・萩原朔太郎の長女、萩原葉子は、30代半ばで文筆活動を始め、デビュー作『父・萩原朔太郎』で日本エッセイスト・クラブ賞を受賞。その後も数々の賞に輝くなど作家として高い評価を得ました。本展では、文筆活動のほか、萩原葉子が生涯続けたダンスや造形制作などの活動についても紹介します。

日時＝10月10日(土)～来年1月11日(月)(水曜・年末年始を除く。10月28日(火)は開館。翌29日(水)は休館)、9時～17時(入館は16時30分まで)

費用＝400円(10月10日(土)・28日(火)・11月1日(日)・来年1月11日(月)は無料)

申し込み＝前橋文学館へ

● **公式YouTubeに関連企画動画**

本展の関連動画を同館公式YouTubeチャンネルで順次公開します。ぜひご覧ください。



前橋文学館 2つの企画展を開催

前橋文学館 ☎027-235-8011

私が出会った表現者たちⅣ おちゃめなアリス 田村セツコ展

萩原朔美館長が出会った表現者たちを作品と共に紹介するシリーズ第4弾。田村セツコさんは、1950年代後半に少女雑誌界にデビュー。現在も第一線で活躍するイラストレーターで、詩作やエッセイも数多く手がけています。本展では、サンリオ『いちご新聞』やイラスト原画、油彩、コラージュ、セツコグッズなどを展示します。

日時＝10月3日(土)～12月27日(日)(水曜を除く。10月28日(火)は開館。翌29日(水)は休館)、9時～17時(入館は16時30分まで)

申し込み＝前橋文学館へ

萩原葉子『ひとりぼっちの思春期』ポプラ社、1985年
挿画：田村セツコ

